



学校長ご挨拶

「看護学生の潜在能力を伸ばし

地域で活躍する看護師が卒業できる学校へ」



学校長 山本 一郎

姫路市医師会看護専門学校の在校生の皆さん、そしてご父兄及び卒業生の皆さま、本校で学んだ1000名以上の卒業生が医療現場で患者の心に寄り添い命を守っております。在校生、今後入学してくる新入生に期待をするとともに、現場で活躍する卒業生に感謝と誇りを感じています。また、現在「コロナ禍」の中で学生を受け入れている実習施設や授業を担当されている非常勤講師の先生方のご配慮ご協力に感謝いたします。

本校では令和3年度入学生からiPadを使った教科書を使って授業を行っております。こうした情報端末を活用したWeb授業など、コロナ禍の中でも継続して授業を続けていくことが可能となる様に課題に取り組んでまいります。

こうした人と人との接触を出来るだけ少なくする状況ではありますが、本校の生徒には、在校中に患者の心のケアを大切に、優しい心のエネルギーを蓄えてもらう事を期待しています。こうした能力を高めるためには、講師教員と対面での話し合いや看護実習で患者さんを受け持つ体験が大切となります。人のために役に立っていると自覚できる経験が今後も出来るように授業や実習以外の学校生活や教員との接点、メンタル環境の改善など学習環境について学校全体として取り組むことが大切と考えております。

毎年入学する学生には多くの潜在能力があります。将来やりがいと誇りをもって医療現場で活躍できる看護師となれるように、3年間それぞれの学生の潜在能力を見出していける学校を目指しております。当校を巣立った患者に寄り添える生徒が、地域医療で活躍する事を期待しています。

学 校 行 事 の 記 録

令和4年度 オープンキャンパス & 学校見学会

8月8日（月）、9日（火）、10日（水）にオープンキャンパスを開催しました。

今年も多くの高校生、社会人の皆さんにご参加いただき、3日間を通して155名の方が来校されました。

昨年と同様に、新型コロナウイルスの感染予防のため、直接人と人が触れ合うような体験は行わず、看護演習の見学と施設の見学が中心のオープンキャンパスとなりました。

参加者のみなさんからは、「たくさん見学や説明があつてとても良かった」「コロナの感染対策を徹底した実際の看護の実習見学がとても充実していて楽しかった」「模擬授業がとてもわかりやすかった」など、内容に満足したという感想を多数いただきました。また、在校生と直接お話していただける相談コーナーでは、「たくさん質問に答えて頂き、今年絶対入学したいと思った」「詳細な勉強方法が聞けて良かった」などのご感想をいただきました。



◆オープンキャンパス

当日プログラム◆

- カリキュラムの概要説明
- 2023年度入学試験概要説明
- 学生プレゼンテーション
- 模擬授業
- 8日「臨地実習でのエピソード」
- 9日「吸引をやってみよう」
- 10日「フットケアの第一歩」

●看護演習見学・施設見学

- 第1看護実習室「心音・呼吸音聴診・心電図」
- 第2看護実習室「BLS(一次救命措置)・輸液ポンプ」
- 第3看護実習室「吸引モデル・小児モデル」
- 第4看護実習室「沐浴」
- 在宅看護実習室「車いす・リフト等」
- 情報処理室～図書室 各フロア設備見学
- 相談コーナー
- 在校生や教職員に直接質問、相談してみよう

学校見学会は、6月4日（土）と9月3日（土）に開催しました。

6月の参加者は33名、9月の参加者は16名でした。

学校概要の説明、在校生によるキャンパスライフの紹介、模擬授業、モデル人形を用いた体験学習などを行いました。

参加者からは、「施設見学も体験学習もわかりやすかった」「疑問に思っていた事に丁寧に对应して頂いた」「学生さんが質問に応じて詳しく話してくれたのでよかった」等の声が聞かれ、満足していただける結果となりました。



第18回 天姫祭 Blooming 姫看 flowers

～広げよう届けよう十人十色の花束を～

10月21日（金）、22日（土）に、第18回天姫祭を開催しました。1日目は、ダンスやビンゴゲームなどのクラス発表や、学習の成果を模造紙にまとめて発表し合う文化発表などを行いました。

2日目の22日には、地域の方々等をお招きし、バザーやゲーム、看護技術の実演見学などを実施しました。感染予防対策を徹底しながら、来場者の皆様が安心感を持ち、「来て良かった」と思っていたけように、学生達はこれまでの天姫祭とはひと味違った企画を考え実施し、和やかな雰囲気の中で楽しめいただきました。

文化祭実行委員会の学生達の意向により、バザーの売上金については、日本赤十字社が行っているウクライナ人道危機支援、公益財団法人日本ユニセフ協会、姫路市社会福祉協議会へ寄付させていただきました。ご来場いただいた皆様方、ありがとうございました。また、外部より出店いただいたひまわりパン、ユニセフ兵庫支部、献血・骨髄バンクの関係者の皆様方、ご協力ありがとうございました。



今回の天姫祭は私たちらしい笑顔を届けようという大きな目標のもと、3年ぶりとなる一般開放も含めた2日間開催となりました。各クラスが考えた看護体験や看護ゲームは、これまで学んできた様々な学習を発揮する機会となり、学校の理念である“地域社会の保健医療福祉に貢献できる看護師”を目指して学んでいる日々の学校活動を理解していただける機会になったと思います。このような活動が次年度以降も開催できるように文化祭活動を行なっていきたいと思います。

■ 第18回 文化祭実行委員長 井上 海斗

令和4年度 宣誓式

11月26日（土）、令和4年度宣誓式を執り行いました。今年度より1年次生を対象に、「これから直接生命に関わる者としての使命と責任を明確にし、専門職へ進む自覚を促すこと」を目的として行うこととなりました。

1年次生は厳粛な雰囲気の中、ナイチンゲール像から一人ひとりろうそくに火をいただき、ナイチン



ンゲール誓詞を斉唱しました。

ご出席いただいた清元姫路市長は、「人の命を救えるのは人である」という医療従事者としての強い使命感について述べられました。

1年次生は、これから本格的に始まる臨地実習や、専門知識の学習に向けて、決意を新たにすることができました。

学 業 の 記 録

関西看護学生研究大会 10月19日 web開催

3年次の久具山玲奈さんが作成したパワーポイントと音声記録による発表を含め、各学校の発表がオンデマンド配信されました。2年次80名が視聴しました。



▶発表テーマ ベッド上中心の生活にて発赤がある患者の看護 生活を踏まえた観察

看護研究を行い、自身の看護を見直すことで新たな学びを得ることが出来ました。実施した看護を振り返ることで、自分の行った看護が効果的か、看護師という存在は、患者にどのような影響を与えるのかなど、自身の看護に深く向き合う良い機会になりました。また、文献を調べることで、新たな気付きもありました。実際に臨床で働くにあたり、実習や看護研究で得た学びを活かし、日々、研鑽に励みたいです。

 3年次 久具山 玲奈

実習を振り返って

私が基礎看護学実習Ⅰ-（2）で学んだことは、患者さんの個性を考慮した援助方法を見出すことです。カルテからの情報だけでなくコミュニケーションをとる中で、色々な視点で患者さんを捉えて患者さんの生活背景や価値観を理解することが大切だと思いました。また、患者さんが話してくださった退院後の生活の不安をやわらげるためには、どう声をかけたらよいのか考えることが難しかったです。この実習で感じたこと、学んだことを心に留めて、これからも知識や技術を身につけていきたいです。

 1年次 鳥田 夢花



臨地実習を通して印象に残った実習は、急性期実習です。手術後で、意思表示ができない患者さんに対し、起こりうるリスクを考え、表情から痛みがあることを読み取り、その人に合った安楽な体位や環境づくりをすることで、苦痛を取り除くことができました。このことから、対象の代弁者となる存在であることを学びました。実習で学んだことを活かし国家試験に向けて、頑張っていきたいです。

 3年次 足立 夢香

基礎看護学実習Ⅱでは、リハビリ目的で入院され、日常生活動作が自立している患者さんを受け持たせていただきました。はじめは患者さんに必要な援助がわからず戸惑いましたが、患者さんと向き合い、「今何が必要なのか」を考えたことで、直接援助をすることだけが看護ではなく、安全に歩行できているか観察し、患者さんの目標達成に向けサポートすることも看護として大切なことだということを学び、看護を深めることができました。

 2年次 桃井 璃子



セミナー、研修会開催のご報告

看護力アップセミナーを開催しました。

本セミナーは、医療現場で活躍されている看護師のスキルアップ、看護学生の国家試験合格を目指した学外研修、休職中の看護師の方の職場復帰に向けた支援を目的として開催しています。

今年度の年間テーマは「安全・安楽な療養生活を支える技術」でした。3日間のセミナーを1期とし、全2期のセミナーを本校で開催しました。

第1期（7月2日、9日開催。7月16日は新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み中止）は24名、第2期（12月3日、10日、17日開催）は27名の方にご参加いただきました。

第1期のセミナーでは、排泄のケアを中心に、導尿・摘便、オムツ交換やポータブルトイレの援助について教えていただきました。また、腎・泌尿器、直腸・肛門の構造と機能について改めて解説していただくとともに、尿の異常・排尿異常、大腸がん・腸閉塞などの病態生理についても詳しく教えていただきました。

第2期は、皮膚の構造と機能、スキンケア用品の選び方・使い方、気持ちよさをもたらすスキンケアなどについて、解剖生理や病態生理の視点と臨床看護の視点から皮膚に関するケアを解説していただきました。

参加者からは「学校を卒業してかなり年数がたつので、講義を受けているような懐かしい気持ちになった」「理解しやすい説明だった。現場でも取り入れやすいと思った」「実際に使用されているスキンケア用品の紹介があり、看護ケアの方法について分かりやすかった」などのご感想をいただきました。



第21回 看護師生涯教育研修会を開催しました。

6月25日（土）、第21回看護師生涯教育研修会を本校で開催しました。

今年度は「認知症の人と家族への支援」を年度テーマとし、「つらい時は我慢しないで」と題して、公益社団法人 認知症と家族の会 兵庫県支部 副代表 亥下徳子氏にご講演いただきました。

現役の看護師の方や看護学生など、64名の方が参加されました。当日に行ったアンケートの中の“参加された理由”として、「認知症の勉強をし、本人や家族の方を少しでも理解して関わって援助したいから」「看護学生であり、領域実習で認知症の人と関わり、認知症のことをもっと知りたいと思ったから」「今後自分にもおこりうるから」などの回答がありました。

実際に講演を聞かれて、「家族の気持ちを考え、聞くことの大切さ、1人で抱え込まないことを学んだ」「（他者に）相談することが介護を続けていくためにも、自分を守るためにも大切だと感じた」などのご感想をいただきました。



第22回 看護師生涯教育研修会のご案内

今年度は「認知症の人と家族への支援」を年度テーマとして研修会を開催しております。
卒業生の皆様にはこの研修会が同窓生との交流の場としても利用していただけたらと考えております。是非ご参加ください。

【テーマ】「認知症とともに生きる未来」

講師 社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院
認知認定看護師 伊藤 大輔 氏

【日時】令和5年2月25日(土) 午後2:30～4:30

【場所】姫路市医師会看護専門学校 体育館兼講堂

【お申込】本校ホームページの申込フォームより送信、または同封チラシ裏面申込書をFAXでお送りください。

【お問い合わせ】電話：079-298-1241 FAX：079-298-6876

先生にインタビュー

「新年を迎えて、今年の抱負をお聞かせください！」



令和5年には、本校の新カリキュラムの目玉である領域横断科目がいよいよ始まります。従来のカリキュラムの重複部分を整理し看護実践力の向上を目指して、「継続看護」「専門職連携」「家族看護」「保健指導」「周手術期と看護」「薬物療法と看護」「終末期と看護」の7つの科目を設定しました。良いスタートが切れるよう現在準備を急いでいます。

教員 梶谷 由賀里



編集後記

紙面でもお伝えしましたが、第18回天姫祭は久々に外部のお客様をお招きしての実施となりました。With コロナの行動様式が浸透し、感染予防をしつつ、以前のように直接対面による人との交流が活発になってきました。先日、3年次生が学校案内のパンフレットを眺めて、「〇〇先生ってこんな顔しとんや！」と驚いた様子。約3年間学校に通っている学生が、マスクをはずした教職員の姿を見たことがないほど、コロナの影響が長期に及んでいることを実感しました。オンラインによる画面越しの会話も可能な時代になりましたが、やはり直接顔と顔を合わせてのコミュニケーションには、同じ時間と空間を共有できる喜び、そこでしか得られない心の充足感のようなものがあるように感じます。

最後になりましたが、紙面作成にご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆様へ 住所変更・氏名変更届出のお願い

住所やお名前に変更があった場合、本校までお知らせください。本校ホームページの「卒業生」の表示をクリックし、「お問い合わせ・住所変更にもなう届け出について」より、入力・送信してもらうだけで簡単に届け出ができます。学校に来られた際、学校事務課への申し出により届け出することも可能です。



この「HIMEKAN」に掲載する記事を募集しています。
卒業生のみなさんにお知らせしたいこと、伝えたいこと、
がんばっていること等なんでもかまいません。
様式は問いません。掲載内容と名前、住所、連絡先を記入
して、学校まで送付してください。
もちろん、持ち込みもOKです。



●●発刊元●●

姫路市医師会看護専門学校
学校事務課

〒670-0074

姫路市御立西五丁目6番22号

Tel 079-298-1241 (代)

Fax 079-298-6876

ホームページ <http://himeji-kango.jp>